

【医療・介護・福祉分野の組合調査】

約8割が「感染しない・させないため」に行動を制限

——連合の医療・介護従事者アンケート

連合（神津里季生会長）は5月20日に「医療・介護従事者向けアンケート」の調査結果を発表した。それによると、新型コロナウイルス感染症拡大により、医療・介護現場で働く人の8割が、感染しない、感染させないための行動制限をされていることが明らかとなった。調査は新型コロナ感染症拡大が長期化するなかで、医療・介護現場の実態や生の声を集約し、周知させることを目的に、4月26日～5月13日に実施。医療・介護に従事する組合員およびその家族・友人を対象とし、3,258人が回答している。

3割が感染拡大で差別・偏見の増加と回答

調査では、介護現場を、施設・通所系介護サービスと、訪問系介護サービスに分けて集計。回答者の職場は、「病院・診療所」が47.36%、「施設・通所系介護サービス」が41.56%、「訪問系介護サービス」が9.88%となっている。

新型コロナの拡大で、勤務環境に変化があるか尋ねると（複数回答）、医療現場では「感染しない、感染させないために行動制限がされている」と回答した人の割合が、80.4%で最も高い（表1）。次いで、「感

染防御の対応で負担が増えた」（71.1%）、「業務量が増えた」（54.2%）、「人手不足」（52.8%）が多くなっている。

介護現場でも最も回答割合が高いのは、「感染しない、感染させ

ないために行動制限がされている」で、施設・通所系サービスで81.6%、訪問系サービスで78.9%。次いで、「感染防御の対応で負担が増えた」（施設・通所系：67.4%、訪問系：69.9%）、「人手不足」（施設・通所系：49.6%、訪問系：37.0%）、「業務量が増えた」（施設・通所系：40.6%、訪問系：36.3%）などの順となっている。

また、「医療・介護従事者への差別・偏見が増えた」の回答割合は、医療現場で30.9%、介護現場の訪問系サービスで29.2%にのぼった。

コロナ以前でも「人手不足」

新型コロナにかかわらず、医療・介護現場において問題・大変だと思うことを尋ねると（複数回答）、医療現場では、「業務量が多い」という回答が73.4%と最も多く、次いで「人手不足」（71.5%）が多い。

介護現場では、施設・通所系サービスは「人手不足」が79.3%で最も多く、次いで「低賃金」（70.6%）となった。訪問系サービスでは「低賃金」が63.0%で最も多く、「業務量が多い」（62.7%）、「人手不足」（61.2%）といった回答も6割にのぼる。

表1 新型コロナの拡大で、勤務環境に変化はありましたか（複数回答）

	医療 (n=1543)	施設・通所系介護 (n=1352)	訪問系介護 (n=322)
業務量が増えた	54.2%	40.6%	36.3%
時間外労働が増えた	26.2%	12.3%	14.3%
夜勤が増えた	7.7%	4.0%	0.6%
休みが取りにくくなった	25.6%	23.2%	25.2%
給料が下がった、ボーナスがカットされた	22.0%	13.0%	14.3%
人手不足	52.8%	49.6%	37.0%
離職者が増えた	21.3%	21.4%	18.3%
パワハラ等のハラスメントが増えた	7.4%	7.8%	5.6%
医療・介護従事者への差別・偏見が増えた	30.9%	21.2%	29.2%
患者・利用者またその家族からの暴力等のパワハラ・セクハラ等が増えた	7.7%	6.1%	4.3%
感染しない、感染させないために行動制限がされている	80.4%	81.6%	78.9%
感染防御の対応で負担が増えた	71.1%	67.4%	69.9%
(以前から大変なので) 変わらない	4.0%	9.5%	6.8%
その他	1.8%	2.1%	4.3%

表2 今求めていることは何ですか（上位3つまで）

	医療 (n=1543)	施設・通所系介護 (n=1352)	訪問系介護 (n=322)
命を預かる働きに見合った報酬（手当）が欲しい	76.1%	79.5%	73.6%
休みが欲しい	37.1%	21.3%	19.6%
感染予防対策グッズ	17.9%	21.5%	23.9%
パワハラ等のハラスメント改善	10.6%	10.7%	7.1%
誹謗中傷（家族含む）への対策	9.3%	3.9%	7.5%
人手不足の解消	61.8%	62.3%	43.8%
医療・介護従事者のワクチンの早期接種	16.9%	46.1%	55.9%
政府・自治体からの正確な情報発信	21.8%	19.9%	26.7%
その他	2.3%	2.1%	2.8%

医療・介護現場ともに、感染拡大以前から「人手不足」を問題と思っている人は比較的多い。

7割が働きに見合った報酬や手当を求める

いま求めているものは何かを尋ねると（上位3つ）、医療・介護現場ともに、「命を預かる働きに見合った報酬（手当）が欲しい」が最も高い割合で、全て7割を超える結果になった（医療：76.1%、施設・通所系：79.5%、訪問系：73.6%）（表2）。医療現場では、2番目に「人手不足の解消」（61.8%）、3番目に「休みが欲しい」（37.1%）が続いた。

一方、介護現場では、施設・通所系サービスで、「人手不足の解消」（62.3%）が、2番目に多くなっている。訪問系サービスでは「医療・介護従事者のワクチンの早期接種」（55.9%）が2番目に多く、施設・通所系サービスでも46.1%と、介護現場の約半数がワクチンの早期接種を求めている。医療現場では「医療・介護従事者のワクチンの早期接種」は16.9%と、比較的少なく、医療現場と介護現場で回答に差が出ることとなった。

国や行政へ現場からの訴え

国や行政に訴えたいことについて自由回答で尋ねると、1,851件の意見が寄せられた。

「コロナ患者を受け入れてない医療機関も感染リスクは存在する。やるが増えているのにボーナスが減って割に合わない。リスクが高すぎる。手当の拡充を」「福祉介護系の給料は低すぎる。コロナを機に医療従事者、福祉介護系の給料を見直すべき」など感染リスクや報酬についての意見や、「子どもたちにも行

動制限をかけていて、介護職だから仕方ないとなだめているが、本音を言えば、映画にも旅行にも外食にもいきたい。Go Toの恩恵を受けられたのは医療・介護従事者以外と思うとやるせない」など、行動制限や心身の疲弊、リフレッシュを求める声が多く寄せられた。

他にも「1日でも早くワクチン接種をしてほしい」とワクチン接種の要望や、オリンピックへの賛否、行政への批判など、さまざまな意見があがっている。

医療・介護従事者の生の叫び

声を大にして言いたいことを自由回答で尋ねると、1,845件の意見が集められた。

「一般病棟からコロナ病棟に行っているが、そもそも一般病棟のスタッフが少ないので、カバーできない。重症者が多く、面会制限のため家族と患者の間の対応など業務量が増え、時間外が多く、インシデントが増えるのは当たり前。上からの優しい言葉もなく、配慮が足りない。入院患者の安全なんて確保できない」など職場環境に関するものや、患者・利用者への医療やサービスの提供についての意見があがった。

また、「コロナの正しい知識や情報を一般の方々に広く周知してください」など、コロナの情報を求める声や、偏見や差別をしないよう求める「医療従事者、家族、特に子どもを偏見差別の目で見るのはやめて」といった現場の声が寄せられた。